



第4回 JEF-KRA グローバルリスク・シンポジウム

～COVID19と共に生きる新世界秩序の中のグローバル・リスクとチャンス～

日時：2020年10月12日（月）17：00～19：00
10月13日（火）17：00～19：00

場所：オンライン形式によるデジタルシンポジウム

本件は在英シンクタンク Komatsu Research & Advisory (KRA) との共催により、その4回目の開催となった。パンデミックの状況に鑑み、今回は初の試みとしてオンラインでの開催（同時通訳付）とした。

本シンポジウムでは、パンデミックの長期化を前提に国際秩序下で発生した新たな課題や加速した既存課題のリスクとチャンスを経済学的観点から、各分野の専門家に分析・解説していただいた。世界各国の異なる視点から、コロナ禍の中での国際情勢についての講演を行った後、参加者やオンラインの聴衆も交えての質疑応答セッションを実施。

シンポジウム初日は、日下一正 JEF 会長による開会挨拶に続き、川口順子元外務大臣から来賓挨拶があり、ディスカッションは2日間を通して小松啓一郎 KRA 代表がモデレーターを務めた。

一日目は英オックスフォード大学経済・公共政策学教授ポール・コリアー卿がパンデミック下の社会が直面している不確実性により引き起こされた様々な社会的変化、グローバリゼーションと新型コロナ 禍の相互作用について話し、アフリカとその他の地域別の地元伝統知識・知恵を保存するためのネットワーク構築に尽力される、クワズルー・ナタール大学（南アフリカ）のハッサン・オマリ・カヤ教授は、新型コロナがアフリカにどのような影響を与えたか、さらにアフリカの回復力にどのような意味を与えたかについてプレゼン。スピーカー全員によるパネル・ディスカッションに続き、全スピーカーと参加者との間で質疑応答を行った。

二日目は、英国情報局秘密情報部（S I S = M I 6）元副長官でもあり、英国国際戦略研究所（I I S S）シニア・アドバイザーであるナイジェル・インクスター研究員が、英国の視点から、中国を巡る課題とサイバーセキュリティについて取り上げ、続いて董龍昇（ト

ン・ヨンスン) 元韓国大統領政策諮問委員が北朝鮮や南北関係、東アジアにおけるパンデミック禍の影響について、国家体制の違い等政治的側面に焦点を当てながらプレゼンを行った。この日もスピーカー全員によるパネル・ディスカッションに続き、全スピーカーと参加者の質疑応答が行われた。

【プログラム】

10月12日(月) 1日目

- 17:00 開会挨拶：日下一正 国際経済交流財団 会長
- 17:10 来賓挨拶：川口順子 元参議院議員・元外務大臣・元環境大臣
武蔵野大学客員 教授、国際総合研究所フェロー
- 17:20 趣旨説明：小松啓一郎 Komatsu Research & Advisory (KRA) 代表
- 17:25 **ポール・コリアー卿** オックスフォード大学ブラバトニック公共政策大学院教授、国際成長センター並びに経済社会研究会議 (ESRC) リサーチネットワーク・社会マクロ経済のダイレクター
講演テーマ:パンデミックのインプリケーション(グローバル・サプライチェーン、移民問題、世界格差、資本主義への影響等を中心に)
- 17:50 **ハッサン・オマリ・カヤ教授** クワズルー・ナタール大学 (ダーバン、南アフリカ) 主任研究員、科学イノベーション学部 (DSI) 国立研究基金 (NRF) 地域別の地元伝統システム (CIKS) のダイレクター
講演テーマ:「アフリカでの地元伝統知識・知恵の体系化で新型コロナ禍という世界規模の重大課題の実例に挑戦」
- 18:15 スピーカー全員によるパネル・ディスカッションと質疑応答
- 18:55 第1日目の閉会挨拶：日下一正 JEF会長

10月13日(火) 2日目

- 17:00 開会コメント：小松啓一郎 KRA代表
- 17:10 **ナイジェル・インクスター** I I S S (国際戦略研究所)
シニア・アドバイザー、英国情報局秘密情報部 (S I S = M I 6) 元副長官
講演テーマ:英国から見た新世界秩序における中国、サイバーセキュリティ問題等
- 17:35 **董龍昇 (トン・ヨンスン)** 元韓国大統領政策諮問委員、青瓦台外交安保首席室 諮問委員 Good Farmers 事務局長
講演テーマ:朝鮮半島、東アジアにおけるパンデミック禍の影響

18:00 スピーカー全員によるパネル・ディスカッションと質疑応答

18:40 まとめ：小松啓一郎 K R A代表

18:55 閉会挨拶：日下一正 J E F会長